

令和5年度

## 八王子市立清水小学校 学校経営報告

### 【 1 令和5年度の取組目標と自己評価 】

#### (1) 学力の向上（重点目標）

① 組織として、児童の学習意欲を高め、わかる・できる喜びを実感できる授業を行う。

⇒・生活科、総合的な学習の時間を中心に、地域人材や地域素材を取り入れて、体験的な学習を導入し、子供たちの興味関心を高めて、探究学習になるように取り組んできた。

(例) 3年生：かいこ 4年生：川口川、高齢者 5年：稲作 6年：地域

※来年度は50周年であり、地域学習を一層高めていきたい。子供たち自身が地域社会の一員であり、その中で育っているのだという自覚が少しでも感じることができたらと思う。

・校内研究では国語の説明文を中心にして授業研究を3回行った。都教委の宮西指導主事を年間講師としてお呼びし、研究をすすめ、熱心な協議が展開された。その中でそれぞれの学年に生かせる研修はできてきている。特に、どんな資質能力をその時間で身につけさせるのかを明確にすることで、授業がより目的をもって展開できるようになってきた。

・OJT主任を中心にして、毎週金曜日の16:15からアップタイムを設定して、若手教員が指導を受けられるような時間を確保した。それによって、授業力の向上にもつながってきている。講師となる中堅教員にとってもOJTを意識し、自身の研修にもつながっている。

#### ② GIGAスクール構想の構築

⇒・月に1回、情報モラルの日として、朝会時に各クラスで共通のテーマで話し合いを行った。年間の指導計画を作成しそれに沿った実施。GIGAを推進していくためには技術面だけでなく、情報モラルを抜きにしては考えられない。便利な道具だからこそ、安全に適正に活用できるように今後も指導していく。

・電子黒板などの購入を進め、各学年1台を目指して整備をすすめていく。教員がかつようできるように、研修などをこまめに行っていく。

#### ③ 基礎学力の定着

⇒・基礎学力の定着を目指して、朝自習の時間確保、小中一貫での夏季補習、放課後補習を行っている。かけ算九九の定着をめざし、まずは3年生以上の子供たちの定着度を

はっきりさせるために、診断テストを行った。100%の定着を目指し、課題のある児童は給食準備中に、算数教室と校長室で補習を行っている。

## (2) 人間力の育成（重点目標）

### ① よりより「あいさつ」の実施

⇒・あいさつを活性化させるために、今年度は特活部を中心にして取り組んできた。たてわり班でのあいさつ運動を行ってきたが、たてわり班の子は大きな声であいさつをするものの、それが浸透していかない。安全ボランティアなど地域の方へのあいさつにも課題が残っている。

※あいさつの習慣化をめざして、あいさつの意味や先生によるあいさつ運動など、継続した活動が必要。

### ② いじめや不登校等に組織的かつ迅速に対応する体制の整備

⇒・現在、不登校の児童は4名いる。まったく関わっていない児童はいなくて、担任が様々な方法で連絡をとり、関わりもっている。とても良く頑張ってくれている。歓喜書記官との連携も含めて、今後も不登校が減っていくように指導をおこなっていく。

・毎週金曜日6hの「ほっとたいむ」を全教職員で取り組み、各クラスの情報を共有し、その後、いじめ対策委員会を行い、いじめの未然防止と早期発見早期解決に向けた取組を組織的に行うことができた。今年度、SCに常に入ってもらい、一緒に考え、適切なアドバイスをもらっていて、多岐にわたる対策が練られている

・大小さまざまな案件があったが、重大いじめ案件はない。

## (3) 学校経営（重点目標）

### ① 学校経営計画実現のため、教職員一人一人が自分の役割と責任を自覚し、成果を上げる意識で職務に当たるようなシステムの整備をする。

⇒・今年度、企画会が効率的に運用ができ、学校経営運営のための根幹として機能することができた。どんな課題があがっても、企画会メンバーで対応策を協議し、みんな方向性を示すことができた。今後も風通しのよい学校経営ができるようにしていく。

・どうしても例年通りで考えてしまう傾向にあるので、今後もその時に対応して主体に考え行動できる集団となるように尽力する。

#### (4) 特別支援教育の充実

##### ① 校内委員会を中心にして、特別支援教育の推進を図る。

⇒・特別支援教室「みのり教室」の巡回指導教員と連携をとり、校内委員会にも出席し、情報を共有して、特別な支援を要する児童の対応に当たることができた。市の巡回相談の回数も増え、その状況も共有している。今年度から就学相談の申請方法や機関が変わっているの、確認を忘れずに対応していく。

#### (5) 家庭・地域との連携

##### ① 清水ふれあいコミュニティの推進を図る。

⇒・学校運営協議会やPTCAとの連携を強化して、地域とともに子供たちを育てることを意識して活動している。

※来年度は50周年であり、より学運協やPTCAとの連携が必要で、いくつかは学校との共同での活動ができないか考えていく。

・学校便りやホームページを通じて学校の情報を発信してきた。特にホームページには行事の様子はもちろんのこと、日々の授業風景もこまめに更新するように心がけてきた。学校評価の中でも好意的な意見が寄せられている。

##### ② 保幼・小・中の連携を強化する。

⇒・小中一貫教育の取組として、中野北小学校、甲ノ原中学校と3校で授業参観、教員交流を実施した。来年度は市の方針を受けて、内容を吟味して、計画的に実施できるようにしている。

・保幼連携では、8月に近隣の甲ノ原保育園・なかの幼稚園の教員同士の交流を実施することができた。その中での情報共有がとても有効であった。今年度は園児が小学校に来校し、1年生との交流を行う。今年度予定していた1学期の低学年授業参観をが実施できなかったの、来年度は必ず行い、入学後の様子を見て、情報共有をおこなって、その後の学級経営に生かせるようにしていく。

##### ③ ブラスバンド部の活動の充実

⇒・今年度はブラスバンド部の活動も積極的に行うことができた。地域行事や八王子市のイベントにも参加し経験を積むことができた。